

委員意見についての講評

議長/副会長 井上 学先生(立命館大学ア・リサーチセンター-客員協力研究員)

皆様から適切なお意見をいただきましたと思います。

下岸委員からの調査結果は、とても重要で助かりました。

このように、南北バスを要望されている方々も実態調査やアンケート調査実施の際には呼びかけ等ご協力いただきたいと思えます。

ほかの委員の方々からもご指摘いただいている通り、美濃山・欽明台地域は地域内で生活圏が完結しており、市役所へのアクセス要望というよりは市役所で受けられるサービスを当該地域でも受けられるようにしてほしいものと解釈されます。

どの地域でも市役所の立地が不便、でも市役所に行く用事は少ない、という意見がそれを表しております。

槻木委員からいただいている通り、ボートピア無料送迎バスの活用は検討できそうです。

コミュニティバスが運行されなかった経緯(すでに京阪バスが一定の頻度で運行されているため、乗継割引で対応した、しかし利用はほぼなかった)は再度、当該地域で説明が必要でしょう。

野村委員からあった通り、美濃山・欽明台地域ではワークショップや勉強会が必要で、地域にとって本当に必要なサービスがバスなのか、から始める必要があると考えます。

令和3年3月2日